

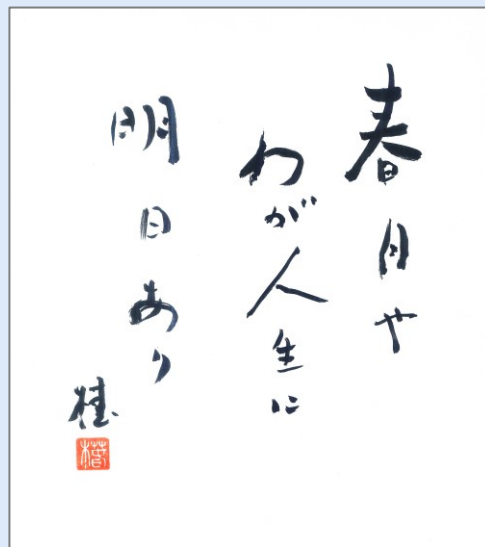
# 星野椿 講演会

『夜明け・わが人生』を語る一俳句とともに生きて



星野椿 (ほしの つばき)

春月やわが人生に明日あり  
椿



星野椿が俳人で祖父の高浜虚子、母の星野立子の思い出と自身のあゆみ、そして俳句の楽しさを語ります。

**2024年5月25日(土) 14:00開演(13:30開場)**

**全席自由 3,500円 会場:鎌倉芸術館集会室**

※チケット1枚につき、星野椿さんの著書『夜明け・わが人生』1冊付

**【講師】星野椿**(俳人・「玉藻」名誉主宰、鎌倉俳句&ハイク選者)

**【チケット販売】2024年1月19日(金)10:00~**

※発売初日は、窓口販売はございません。電話予約・インターネットのみのお取り扱いです。

※車いす席は、窓口・電話予約のみのお取り扱いです。

**【チケットのご予約・お問合せ】**

鎌倉芸術館チケットセンター 電話 0120-1192-40(10:00~19:00/休館日を除く)

インターネット <https://kamakura-kpac.jp/ticket/>

■鎌倉芸術館(鎌倉市大船6-1-2)へはJR大船駅東口・笠間口から徒歩10分

**【協力】鎌倉虚子立子記念館、玉藻社**



昨秋、私の半生を振り返りまして『わが人生・夜明け』を上梓いたしました。書き始めるまでは不安もございました。けれど、私自身の歩みにくわえ、虚子や立子の俳句を思い起こすことは、学び直しという意味からも充実した時間で、楽しく執筆いたしました。

そして今「やっぱり俳句は楽しい」とあらためて思い、日々俳句と向き合っております。

執筆した際に思いをめぐらせました私の人生と俳句について、皆さまにお話しできますことを嬉しく思っております。

星野椿



小樽 和光荘にて

1948年6月 18歳

この時の句会で初めて俳句を作った。右から4人目 椿、母 立子、祖父 虚子、伯父 年尾。

写真提供：鎌倉虚子立子記念館

### 星野椿（ほしの つばき）

1930年2月21日、東京生まれ。本名・中村早子。母・星野立子は高浜虚子の次女。東京白百合女子大学英文科中退。1984年『玉藻』主宰を継承、2014年から名誉主宰。虚子以来の花鳥諷詠・客観写生を信条に新境地を開く。神奈川新聞の俳壇選者を1995年から2022年まで務める。句集に『早椿』『華』『波頭』『雪見酒』『マーガレット』『金風』『早春』『日本橋』『北海道 大好き』『遙か』など。

### 【アクセス】

鎌倉芸術館へは JR 大船駅東口・笠間口から徒歩 10 分

大船駅へは JR 東海道線で品川駅から約 35 分、東京駅から約 45 分

鎌倉芸術館 TEL0467-48-5500/FAX 0467-48-5600

247-0056 鎌倉市大船 6-1-2 HP:<http://kamakura-kpac.jp/>

